

くらしとお金の知恵 ～「使う」「貯める」「増やす」～

年 組 番	名前
-------	----

1. 「お金を増やしたい」とき

(1) ()内の適する方に、○を記入しよう。

預貯金 「安全性」(高い・低い) 「収益性」(高い・低い)

株式 「安全性」(高い・低い) 「収益性」(高い・低い)

(2) 空欄に適する語を記入しよう。

「安全性」と「収益性」がともに高い金融商品は

「安全で、収益性の高い金融商品」は、 でよく使われる誘い文句です。

「 」・「 」・「 」投資を低コストで行う、という運用方法を知りましょう。

お金を運用するとき、「複利の力」を意識 「 」の法則を使う

$72 \div \text{ } \div \text{ } \text{年数}$

2. 「金融商品」を選ぶときの注意点

①～③の空欄に適する語を記入しよう。

① 金融商品は、「 」からしか購入しない」と決めておく。

② 「 」がきちんと「 」商品しか買わない」と決めておく。

③ 「 」は、「 」から提供されているか」に注意する。

3. ここまでを振り返りながら、将来、経済的に自立したときのことについて、考えてみましょう。

(1) つぎのような場合、「使い道を自由に決めることができるお金」を、「使う」「貯める」「増やす」の3つに振り分けたら、「何円ずつ」にしたいですか。例も参考にして、下の表に記入しよう。

○就職して、18ヶ月が経過した。賃貸住宅に一人で暮らしている。扶養家族はいない。

○毎月の給料から、食費・光熱費・家賃等の必要な支出を差し引くと、「月々1万5千円、使い道を自由に決めることができるお金」がある。

(2) その金額を何にしたいか、例も参考にして、記入しよう。

(大体の方向性の記入でよい。具体的な商品や銘柄が決まっている場合は、それを記入しよう。)

(3) (1)、(2)を、そう決めたのは、なぜか？ その目的などを、例も参考にして、記入しよう。

	使う(支出する)	貯める(貯金する)	増やす(投資する)
(1) 金 額	例 5千円	例 5千円	例 5千円
(2) 何に？	例 友人との外食などを 楽しむために:3千円 スマホで映像や音楽を 楽しむために:2 千円	例 病気やけがなど不測の事 態に備える貯金:2 千円 旅行やレジャーのための 貯金:3千円	例 投資信託(積立):3千円 株式(積立):2千円
(3) なぜ？ (目的等)	例 ・健康に働きたい ・働く意欲を高めるに は楽しむことが大切	例 ・病気やけがなどは、健康 保険だけでは、全部はカ バーできない ・普通預金または現金で 貯金しておきたい	例 ・社会的に貢献している企業 を応援したい ・少額で多くの企業に投資 できる投資信託を考えたい ・地元企業を応援するた めにその株式を購入したい

4. 学習をふりかえりながら、将来の支出・貯金・投資について、自分の考えを記入してみましょう。